第２学年２・８組　保健体育科学習指導案

指導者　川口　昌代

１　研究主題　見方・考え方を働かせ、明るく豊かな生活につなげる保健体育学習の創造

　　　　　　　－学んだことを実生活・実社会で生かすことのできる生徒を目指して－

２　単　元　保健分野　傷害の防止（交通事故の防止）

３　単元について

1. 本題材は、傷害の多くは適切な対策によって防止できること、傷害の防止について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して理解を深めるとともに、危険の予測やその回避方法を考え、それらを表現することにねらいをおいている。交通事故による傷害は、人的要因、環境要因及びそれらの相互の関わりによって発生する。交通事故による傷害を防止するために、人的要因や環境要因に関わる危険を予測し、それぞれの要因に対して適切な対策を行うことが必要である。

　昨年度、本県は人口１０万人あたりの死者数が全国ワースト５位であり、年間の交通事故の件数は３０００件を超えている。中学生期には自転車乗車中の事故が多く、身近に交通事故の危険は潜んでいるため生涯にわたって安全に行動する態度を養うことも必要となる。実生活・実社会で目にする場所について課題を発見し、なかまと共に考え、意見を出し合い検討することで、現在および将来の生活を健康で活力に満ちた明るく豊かなものにすることにつながると考え本題材を設定した。

1. 本学級の生徒は、全体的に明るくにぎやかである。自分の考えや意見を積極的に発表する生徒がいる一方、話し合いや発言をすることを苦手とし受け身である生徒もみられる。教師の指示はよく聞き、落ち着いて学習することができている。志度中生全体を考えると、細い道路が多いにも関わらず自転車乗車時に並進したり、ヘルメットをかぶらずに走行したり、自転車乗車時の態度や交通マナーについて一学期地域の方々から連絡を頂くことが何度かあった。本学級の生徒の通学手段は、約半数の生徒が徒歩通学、４割の生徒が自転車通学、その他バス通学等である。夏休み前のアンケートによると、朝の通学時に歩道が狭く車のスピードも速くぶつかりそうになった、建物が多くあって出てくる車が見えずにぶつかりそうになった等、通学時に「あぶない！」と思った経験をした生徒が８８％もいた。しかし、生徒の実態から交通事故に対する危機感はあまり持っておらず、危険を予知できていないことが多い。
2. 以上のことを踏まえ、次の２点に留意して指導する。

①　夏休み課題の中で、通学路や家の周りでの危険な場所について考えたことをもとに、なかまと見直し、意見を交わすことで、実生活・実社会で目にする場所についての課題を発見できるようにする。

　　②　身近な場所で起こりうる危険について、危険を予測し、その回避方法について考え、なかまの意見を聞くことで自分の視野を広げ、実生活のさまざまな場面で活かせられるようにする。

４　学習目標

1. 傷害の防止について、課題の解決に向けての学習に自主的に取り組むことができる。
2. 傷害の防止について、それらに関わる事柄や情報などを整理したり、個人生活と関連付けたりして自他の課題を発見することができる。

５　学習指導計画（計７時間）

1. 傷害の原因と防止・・・・・・・・・・・・・・１時間
2. 交通事故の現状と原因・・・・・・・・・・・・１時間
3. 交通事故の防止・・・・・・・・・・・・・・・２時間（２／２本時）
4. 犯罪被害の防止・・・・・・・・・・・・・・・１時間
5. 自然災害に備えて・・・・・・・・・・・・・・１時間
6. 応急手当の意義と基本・・・・・・・・・・・・１時間

６　本時の学習

1. 目標

交通事故の防止について、課題を発見し、通学路を含む地域社会において交通事故を防止するための対策について考えることができる。

(2)　準備物　　　中学保健体育教科書、タブレット、ワークシート

(3)　学習指導過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 教師の支援 | 学習評価 |
| １　前時までの学習を振り返る。  ２　自転車の安全運転の大切さを再確認する。  ３　本時の学習課題を知る。  ４　通学路や家の周りの安全について考える。   1. ４人組の班を作り、危険な場所について再度考える。 2. 班で出た考えを全体で共有する。   ５　身近で交通事故を防止するために、どうしたらよいか、考え発表する。  ６　これまでの振り返りをする。 | 〇交通事故について、前時までに学習したことをロイロノートを使用して復習、この後の活動につなげる。  〇動画「自転車の加害事故について」を電子黒板にて視聴し、「このくらい」の気持ちや不注意が、被害者や家族にとって取り返しのつかない事態を引き起こしてしまうことを確認できるようにする。  〇日頃の自転車運転の様子について各自が改めて考えるようにする。  身近で交通事故を防ぐためには、どうしたらよいかを考えよう。  〇夏休みの課題に記述されている場所や状況を確認するためにGoogle Earthを活用する。  〇班で選んだ危険な場所で、その場所の状況や起こりうる危険について考える。  ★ロイロノートで班の意見をまとめ、班以外の人の意見を確認することで、考えを広げる。  〇夏休みの課題と同じ問いに対する考えを記述させ、自分の考えを深められるようにする。  〇記述が難しい生徒には、前時までに学習したことやなかまの意見を聞いて本時に考えたことを振り返るよう助言する。  〇小中学校で交通ルールについて学習したことを改めて振り返り、確認する。  〇今後近い将来、車を運転するようにもなるため、交通事故の防止について、将来にわたって学びをつなげていくよう助言する。 | 【思考・判断・表現】  A　交通事故の防止について、課題を発見し、通学路を含む地域社会において交通事故を防止するための対策について考えることができたか。  B　交通事故の防止について、課題を発見することができたか。  （ワークシート・観察） |